

令和五年度

全国剣詩舞コンクール決勝大会

来場歓迎・入場無料

後援

NHK

- とき 令和5年9月24日(日)
午前10時開場・10時30分開始
- ところ 門真市民文化会館ルミエールホール
大ホール(裏表紙参照)

主催

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会



門真市民文化会館ルミエールホール

〒571-0030

大阪府門真市末広町29番1号 TEL 06(6908)5300

(最寄駅) ●京阪電鉄「古川橋駅」徒歩約5分

※古川橋駅は「区間急行」「普通」のみの停車駅となります。

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10虎ノ門35森ビル7階

電話 (03) 6721-5950 (代表)

FAX (03) 6721-5960

大会次第

- 一、開会の辞
- 一、国歌斉唱
- 一、財団会詩合吟
- 一、財団代表挨拶
- 一、競演実施要項説明
- 一、審査委員紹介
- 一、競演 剣舞 幼年・少年の部
- 一、競演 詩舞 幼年・少年の部
- 一、幼年・少年の部 審査結果発表

- (注意)
- 一、役員集合 午前九時三〇分
 - 二、審査委員会議 午前十時〇〇分
 - 三、出演者集合 午前十時〇〇分
- 時間厳守

- 一、競演 剣舞 一般三部・二部
- 一、競演 詩舞 一般三部・二部
- 一、競演 剣舞 一般一部・青年の部
- 一、競演 詩舞 一般一部・青年の部
- 一、審査講評
- 一、審査結果発表並びに入賞者表彰
- 一、閉会の辞

令和元年度(第四十一回)

・剣舞の部

- 幼年の部 永田 菜桜 (愛知) ㊗
- 少年の部 安藤 優 (愛知)
- 青年の部 入倉真之将 (愛知)
- 一般一部 永井 聡多 (愛知) ㊗
- 一般二部 大澤 三枝 (静岡)
- 一般三部 安部 敬子 (愛知)

・詩舞の部

- 幼年の部 片山 心結 (岡山)
- 少年の部 柴本佳乃愛 (愛知) ㊗
- 青年の部 神尾 舞 (愛知) ㊗
- 一般一部 小嶋 一勝 (京都)
- 一般二部 西川ひろ子 (京都)
- 一般三部 井本 勝子 (兵庫)

令和三年度(第四十二回)

・剣舞の部

- 幼年の部 堀 寛介 (愛知)
- 少年の部 堀 真悠子 (愛知)
- 青年の部 原 光希 (兵庫)
- 一般一部 荒谷早智子 (愛知)
- 一般二部 坂上 晃 (兵庫)
- 一般三部 中瀬眞 一郎 (大阪)

・詩舞の部

- 幼年の部 深井 萌衣 (岐阜)
- 少年の部 森 凛華 (愛知)
- 青年の部 五月女智仁 (栃木)
- 一般一部 鈴木 宏実 (愛知)
- 一般二部 佐々木まなみ (京都)
- 一般三部 伊藤トモエ (愛知)

令和四年度(第四十三回)

・剣舞の部

- 幼年の部 鈴木 嗣人 (愛知) ㊗
- 少年の部 堀 真大朗 (愛知) ㊗
- 青年の部 五月女智仁 (栃木)
- 一般一部 鈴木 宏実 (愛知) ㊗
- 一般二部 鈴木 一人 (茨城) ㊗
- 一般三部 鈴木 文枝 (愛知) ㊗

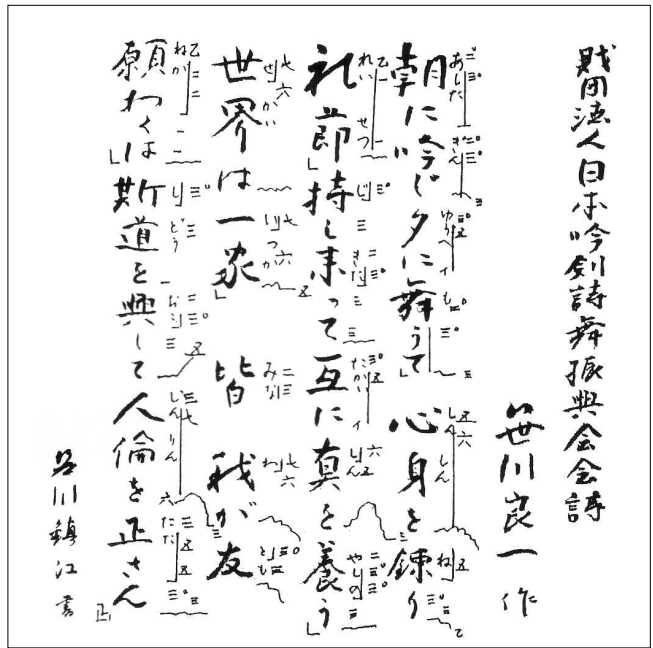
・詩舞の部

- 幼年の部 堀 寛介 (愛知) ㊗
- 少年の部 堀 真悠子 (愛知) ㊗
- 青年の部 長澤 美元 (愛知) ㊗
- 一般一部 林 亮志 (愛媛)
- 一般二部 渡邊 祐子 (静岡)
- 一般三部 金屋 俊枝 (広島) ㊗

㊗印は、文部科学大臣賞受賞者

令和六年度全国剣詩舞コンクール指定吟題

☆剣舞		☆詩舞	
(幼年・少年の部)		(幼年・少年の部)	
1 客舎の壁に題す	雲井 龍雄	1 青葉の笛	松口 月城
2 鞍馬の牛若	松口 月城	2 佳賓好主	佐藤 一斎
3 大楠公	徳川 景山	3 和歌・霞立つ	在原 元方
(青年・一般の部)		(青年・一般の部)	
1 奥羽道中	榎本 武揚	1 巖 島	浅野 坤山
2 舟八島を過ぐ	正岡 子規	2 絶句(江碧にして)	杜 甫
3 豊公の旧宅に寄題す	荻生 徂徠	3 壇の浦を過ぐ	村上 仏山
4 涼州詞	王之 渙	4 常盤狐を抱くの図に題す	梁川 星巖
5 和歌・さえのぼる	織田 信長	5 和歌・よもの海	明治天皇御製



平成二十年度(第三十一回)

・剣舞の部

幼年の部 友井川 友(兵庫) ⊗
少年の部 服部 幸海(愛知)
青年の部 大野 晶子(愛知)
一般一部 伊藤 由康(愛知)
一般二部 伊藤 由康(愛知)
一般三部 伊藤 由康(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 松浦 百花(岐阜)
少年の部 丸山 愛美(岡山)
青年の部 長坂 恵里子(愛知)
一般一部 安藤 祐嗣(愛知)
一般二部 安東 敏子(愛媛)
一般三部 安東 敏子(愛媛)

平成二十一年度(第三十二回)

・剣舞の部

幼年の部 神尾 舞(愛知) ⊗
少年の部 野中 政利(栃木)
青年の部 近藤 聡司(愛知)
一般一部 今泉 信行(愛知)
一般二部 加藤 登規(兵庫)
一般三部 加藤 登規(兵庫)

・詩舞の部

幼年の部 杏川 桃子(愛知) ⊗
少年の部 服部 怜海(愛知)
青年の部 平田 陽子(岡山)
一般一部 長澤 仁美(愛知)
一般二部 酒井 玉美(兵庫) ⊗

平成二十二年度(第三十三回)

・剣舞の部

幼年の部 上岡 隆生(三重)
少年の部 神尾 龍(愛知) ⊗
青年の部 長坂 理絵(愛知)
一般一部 長澤 仁美(愛知)
一般二部 中木村 千和(兵庫)

・詩舞の部

幼年の部 神尾 舞(愛知) ⊗
少年の部 柴田 幸乃(愛知)
青年の部 服部 幸海(愛知)
一般一部 梶原 和子(和歌山)
一般二部 和田 静(和歌山)

平成二十四年度(第三十四回)

・剣舞の部

幼年の部 原 光希(兵庫)
少年の部 入倉 慶志郎(愛知)
青年の部 藤野 舞(福岡)
一般一部 伊藤 清美(愛知)
一般二部 牧野 清美(愛知)
一般三部 松田 頼壽(岡山)

・詩舞の部

幼年の部 神尾 舞(愛知) ⊗
少年の部 安藤 和(愛知)
青年の部 日下 智美(京都)
一般一部 近藤 智美(京都)
一般二部 古田 里子(静岡)
一般三部 寺尾 恵子(兵庫)

平成二十五年(第三十五回)

・剣舞の部

幼年の部 石川 姫麗(愛知)
少年の部 神尾 舞(愛知) ⊗
青年の部 浦野 佳奈(兵庫)
一般一部 石川 公江(愛知)
一般二部 蜂須賀 代子(愛知)
一般三部 小久保 恵子(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 柴本 佳乃愛(愛知) ⊗
少年の部 野澤 美裕(東京)
青年の部 見城 真弥(静岡)
一般一部 佐治 亜有子(京都)
一般二部 石原 和子(兵庫)
一般三部 稲垣 和子(兵庫)

平成二十六年(第三十六回)

・剣舞の部

幼年の部 柴本 佳乃愛(愛知) ⊗
少年の部 友井川 友(兵庫)
青年の部 入倉 慶志郎(愛知)
一般一部 小嶋 一勝(茨城)
一般二部 藤野 代志乃(福岡)
一般三部 稲垣 和子(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 西浦 輝(愛知) ⊗
少年の部 長澤 真元(愛知)
青年の部 中川 史帆(愛知)
一般一部 内藤 栄子(岡山)
一般二部 今和泉 静子(広島)

平成二十七年(第三十七回)

・剣舞の部

幼年の部 安藤 雅治(岡山)
少年の部 上岡 雅高(三重)
青年の部 増井 章高(兵庫)
一般一部 今久保 伸二(奈良)
一般二部 永岡 美智子(岡山)
一般三部 大橋 幸枝(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 野田 璃珠(愛知) ⊗
少年の部 安藤 優(愛知)
青年の部 多田 麻衣子(大阪)
一般一部 石渡 千紘(愛知)
一般二部 鈴木 育代(静岡)
一般三部 友井川 睦子(兵庫)

平成二十八年(第三十八回)

・剣舞の部

幼年の部 友井川 慧照(兵庫) ⊗
少年の部 原 光希(兵庫)
青年の部 永井 聡多(愛知)
一般一部 迫 希実秀(千葉)
一般二部 渡辺 敦子(三重)
一般三部 渡辺 敦子(三重)

・詩舞の部

幼年の部 大日方 心海(愛知) ⊗
少年の部 野田 麗乃(愛知)
青年の部 杉浦 沙織(愛知)
一般一部 長坂 沙織(愛知)
一般二部 松永 みどり(岡山)
一般三部 井上 成子(大阪)

平成二十九年(第三十九回)

・剣舞の部

幼年の部 堀 真大朗(愛知) ⊗
少年の部 細川 侑莉子(静岡)
青年の部 白石 健太(愛知) ⊗
一般一部 石渡 千紘(愛知) ⊗
一般二部 河端 名加子(愛媛)
一般三部 友井川 睦子(兵庫)

・詩舞の部

幼年の部 森 淳華(愛知) ⊗
少年の部 藤上 涼夏(岡山)
青年の部 堀 早智子(三重)
一般一部 荒谷 早智子(愛知)
一般二部 安部 敬子(三重)
一般三部 安部 敬子(三重)

平成三十年(第四十回)

・剣舞の部

幼年の部 堀 真悠子(愛知) ⊗
少年の部 多田 慧秀(岡山)
青年の部 増井 康二(兵庫)
一般一部 長坂 紗織(愛知)
一般二部 五月 女益美(栃木)
一般三部 玉田 朝子(兵庫)

・詩舞の部

幼年の部 堀 真大朗(愛知) ⊗
少年の部 西浦 碧(愛知)
青年の部 鈴木 恵子(岡山)
一般一部 小野 藍子(兵庫)
一般二部 大野 恵(愛媛)
一般三部 高原 玉江(岡山)

令和五年度全国剣詩舞コンクール
決勝大会開催にあたって



(公財) 日本吟剣詩舞振興会

会長 沼崎 富

価値ある伝統芸道の祭典

公益財団法人日本吟剣詩舞振興会主催令和五年度全国
剣詩舞コンクール決勝大会が、本日、ここに盛大に開催さ
れる運びとなりましたこと、関係者共々深く喜びとするこ
ころであります。本大会のために、早朝からご来場いただ
きました皆さまに對しまして深く敬意を表しますととも
に、いろいろと準備の為に奉仕してくださいました大会
役員のかたがたに對しましても深く感謝申し上げます。
剣詩舞は、吟詠の調べに合わせて詩歌のこころを心技を

もって表現するものであり、わが国の伝統芸道の中でも、
今日までの民族精神の形成に大きな役割を果たしてきた
ばかりでなく、これからのわが国の精神文化の高揚におい
ても大きな期待をかけられている芸道であります。
当財団の主催する剣詩舞コンクールは、この剣詩舞道の
本質を追究し、併せて芸道としての向上を図るとともに、
斯道のよりいっそうの振興と普及を目的として、全国的レ
ベルで行なうものであります。
出場者の皆さまには、日ごろの精進の成果を十分に発揮
されますことを希望いたしますとともに、ご来場の皆さま
におかれましては、吟剣詩舞道の今日像を正しく理解され、
ますます斯道に親しまれますようお願い申し上げます。
最後に、皆さまのご健康を祈念して私の挨拶といたしま
す。

令和五年度全国剣詩舞コンクール決勝大会役員

大会会長 沼崎 富

大会副会長 徳田 風

大会実行委員 早淵 鯉

池内 賢二

宮川 紫朋

入倉 昭星

鈴木 吟亮

杉浦 英容

高木 法洲

☆大会特別顧問

山岡 哲山

武田 禧洲

野中 秀鳳

杉浦 容楓

山内 正風

多田 正満

田中 岳藤

小幡 神叡

益中 鵬山

八代 輝霊

小野光翠扇

向山 侑吟

八文字剛洲

山口 華雋

藤原 撰楠

前島 昊龍

廣重 光風

山路 泰洲

山本 賀陽

安永 江悠

横山 精真

矢萩 鳳祥

松岡 萌洲

日置 彩峰

横山 寿城

多田 正稔

青柳芳寿朗

☆審査委員

総合審査委員長 早淵 鯉

特別審査委員 内田 寿子

審査委員 藤上 翔山

上岡 昶壮

多田 正晃

☆大会参与

山本 兼正

加藤 紫昇

木村 鳳鶴

池田 嶺煌

松永 悠楓

星野 紫虹

黒田 秀月

宮島 神鳳

鈴木 洲玉

上久保雪女

榊原 静芳

志塚 心将

熊木 雪洲

奥村 精暉

星野 洲虹

石井 桃苑

鈴木 凱山

菱谷 彩佑

後藤 月戈

齋木 彩染

佐々木翠鵬

田中 竜真

石川 春洋

小林 北鵬

平成十年度(第二十二回)

幼年の部 深谷 俊文(愛知)

少年の部 天野由希子(愛知)

青年の部 林 季永子(茨城)

一般一部 鈴木 一人(愛知)

一般二部 広田 光次(愛知)

幼年の部 高岡 美恵(岡山)

少年の部 大野 晶子(愛知)

青年の部 長坂 紗織(愛知)

一般一部 星野久美子(徳川)

一般二部 小嶋 公子(京都)

平成十一年度(第二十三回)

幼年の部 白石 健太(愛知)

少年の部 鈴木 宏美(愛知)

青年の部 長坂 紗織(愛知)

一般一部 上岡 治生(三重)

一般二部 中瀬真一郎(大阪)

幼年の部 服部 幸海(愛知)

少年の部 平田 陽子(岡山)

青年の部 近藤 智美(愛知)

一般一部 山岡 貴子(兵庫)

一般二部 橋本 一恵(兵庫)

平成十二年度(第二十四回)

幼年の部 上羽麻一子(京都)

少年の部 藤野 舞(福岡)

青年の部 大岡 史帆(愛知)

一般一部 美濃部浩一(三重)

一般二部 大岩 行代(愛知)

幼年の部 丸山 愛美(岡山)

少年の部 長坂 理絵(愛知)

青年の部 原 歩(岡山)

一般一部 田中 直美(京都)

一般二部 浅利 健代(岡山)

平成十三年度(第二十五回)

幼年の部 桜井 京子(愛知)

少年の部 大野 晶子(愛知)

青年の部 多田 和晃(大阪)

一般一部 新藤 正代(兵庫)

一般二部 稲垣 和子(愛知)

幼年の部 鈴木恵美子(岡山)

少年の部 長岡 加奈(岡山)

青年の部 石渡 千紘(愛知)

一般一部 今崎 眞弓(岡山)

一般二部 山名千鶴子(兵庫)

平成十四年度(第二十六回)

幼年の部 神尾 龍(愛知)

少年の部 長坂 理絵(愛知)

青年の部 伊藤 明(愛知)

一般一部 中瀬真一郎(大阪)

一般二部 小久保恵子(愛知)

幼年の部 榑部 怜海(愛知)

少年の部 尾嶋 美紀(愛知)

青年の部 岡本菜穂子(愛知)

一般一部 美濃部浩一(三重)

一般二部 藤本ヒロミ(兵庫)

平成十五年度(第二十七回)

幼年の部 加賀 裕人(愛知)

少年の部 藤野 綾(福岡)

青年の部 伊藤 武(愛知)

一般一部 鈴木 文枝(愛知)

一般二部 加藤 政恵(愛知)

幼年の部 高須 巳嘉(岡山)

少年の部 三宅 絢子(岡山)

青年の部 鈴木 宏美(愛知)

一般一部 上岡 治生(三重)

一般二部 菅原 かよ(東京)

平成十六年度(第二十八回)

幼年の部 野中 政利(栃木)

少年の部 早瀬 良宗(兵庫)

青年の部 鈴木 宏美(愛知)

一般一部 西原 香(兵庫)

一般二部 玉田 朝子(兵庫)

幼年の部 柴田きよ乃(愛知)

少年の部 鈴木恵美子(岡山)

青年の部 大野 晶子(愛知)

一般一部 甲本美恵子(岡山)

一般二部 笹野 和子(兵庫)

平成十七年度(第二十九回)

幼年の部 入倉慶志郎(愛知)

少年の部 入倉 眸(愛知)

青年の部 松本 典子(愛知)

一般一部 入倉 仁美(愛知)

一般二部 鈴木 文枝(愛知)

幼年の部 長澤 美元(愛知)

少年の部 野々上真由(岡山)

青年の部 梶原いずみ(岡山)

一般一部 奥田 悦代(岡山)

一般二部 今川 由美(兵庫)

梶 風映	勝部 吼嶺	梅澤 昌峰	阿部 吟鳳	藤本 誠堂	中武 玲星	向山 侑吟	日向美代峰
中澤 春誠	甕 經風	奥脇 嶽津	薦田 南尚	金城 岳周			
白男川 冽風	高橋 瑞祥	麻生 契春	三橋 吟煌				
毛塚 静精	寺嶋 城靖	栗野 電睡	鈴木 海洲				
久保田 正峰	小林 岳章	渡 精華	寺山 天洲				
山下 神燈	小峯 昊苑	丹治 独風	石井 誠紀				
長谷部 紫帛							
(県連代表)							
澤石 峯洲	梅田 錦翠	阿部 清心	寺嶋 城靖				
立身 岳元	舘岡 奥鵬	宮川 紫朋	穴戸 岳荘				
高橋 瑞祥	上田 岳美	黒田 秀月	齋藤 心晃				
池田 嶺煌	石井 桃苑	清水 錦洲	毛塚 静精				
田中 国臣	小松 獅剣	杉山 翔鴻	遠藤 晃楓				
白井 寛洲	松澤 天楓	北瀬 岳櫻	渡邊 皇洲				
山本 演志	堀口 孝心	吉田 観心	山田 静将				
山口 華雋	渡辺 紘山	芳倉 清峰	古川 壽泉				
藤上 翔山	楠部 齋山	高木 法洲	佐藤 瑞風				
中林 涼風	徳田 寿風	松井 松聲	原田 翠鳳				
濱田 翠峰	河野 鶴聲	安部 洸壺	伊藤 翠鳳				

- ◎大会委員長 多田 正稔
- ◎総務委員長 山口 華雋
- ◎庶務委員長 多田 正満
- ◎受付委員長 宮田 虹龍
- ◎進行連絡委員長 小嶋 一心
- ◎司会委員長 山岡 桜山
- ◎音響委員長 柏木 鯉岳
- ◎集計委員長 坂上 鯉盛
- 市政 亥城
- 永塚 裕之
- 桂 鯉礼
- 井上 鯉昊
- 松葉 水緑
- 尾崎 水紅
- 福嶋 咲穂
- 今久保 刃風
- 大嶋 岳青
- 田淵 梅火
- 藤 仟城
- 青柳 芳寿朗
- 伏尾 琵琶
- 多田 正満
- 亀山 尚仇
- 宮田 虹龍
- 山口 眷城
- 小嶋 一心
- 西川 瞳心
- 田畑 水姫
- 山岡 桜山
- 佐々木 秀景
- 柏木 鯉岳
- 坂上 鯉盛
- 桂 鯉礼
- 井上 鯉昊

昭和三十三年度 (第十一回)	平成二年度 (第十三回)	平成四年度 (第十五回)	平成六年度 (第十七回)	平成八年度 (第十九回)
・剣舞の部 幼年の部 西邑 敦夫(大阪) 少年の部 宗 弘樹(兵庫) 青年の部 建部 司(愛知) 一般一部 中川 裕子(佐賀) 一般二部 河合 喜一(愛知)	・剣舞の部 幼年の部 淡谷 亮太(愛知) 少年の部 西邑 晃一(大阪) 青年の部 吉岡 淳史(岡山) 一般一部 加司 和博(大阪) 一般二部 酒巻 照由(栃木)	・剣舞の部 幼年の部 栗田 健二(岡山) 少年の部 熊谷 公江(愛知) 青年の部 伊藤 由康(愛知) 一般一部 岡本 達夫(岡山) 一般二部 今泉多美子(佐賀)	・剣舞の部 幼年の部 多田 翼(大阪) 少年の部 白井ますみ(愛知) 青年の部 原 弦太郎(兵庫) 一般一部 辨天 繁和(奈良) 一般二部 池田 勉(福岡)	・剣舞の部 幼年の部 加司 晃也(大阪) 少年の部 山本 享穂(愛知) 青年の部 熊谷 公江(愛知) 一般一部 建部 司(愛知) 一般二部 林 建紀(高知)
・詩舞の部 幼年の部 赤波根智美(山口) 少年の部 大岡 史帆(愛知) 青年の部 大日方里美(愛知) 一般一部 小西 悦子(兵庫) 一般二部 油谷 淳子(東京)	・詩舞の部 幼年の部 伊藤 修司(愛知) 少年の部 西邑 敦夫(大阪) 青年の部 伊藤 修司(愛知) 一般一部 大澤 三枝(静岡) 一般二部 尾崎 庄一(愛知)	・詩舞の部 幼年の部 長坂 紗織(愛知) 少年の部 山口 育也(愛知) 青年の部 伊藤 修司(愛知) 一般一部 伊藤 修司(愛知) 一般二部 尾崎 庄一(愛知)	・詩舞の部 幼年の部 関 みのり(愛知) 少年の部 長坂 紗織(愛知) 青年の部 中神 友佳(愛知) 一般一部 大岡寿美子(愛知) 一般二部 中尾 章子(岡山)	・詩舞の部 幼年の部 三宅百合子(岡山) 少年の部 渡辺 直美(岡山) 青年の部 大岡 史帆(愛知) 一般一部 折敷瀬久美(佐賀) 一般二部 北出 成美(兵庫)
平成元年度 (第十二回)	平成三年度 (第十四回)	平成五年度 (第十六回)	平成七年度 (第十八回)	平成九年度 (第二十回)
・剣舞の部 幼年の部 山口 育也(愛知) 少年の部 伊藤 修司(愛知) 青年の部 鈴木 一人(愛知) 一般一部 早瀬 肇(兵庫) 一般二部 滝 吉治(兵庫)	・剣舞の部 幼年の部 長坂 紗織(愛知) 少年の部 西邑 敦夫(大阪) 青年の部 伊藤 修司(愛知) 一般一部 大澤 三枝(静岡) 一般二部 尾崎 庄一(愛知)	・剣舞の部 幼年の部 山本 享穂(愛知) 少年の部 山口 育也(愛知) 青年の部 杉浦 裕美(愛知) 一般一部 内山 宗信(香川) 一般二部 小松 武夫(山梨)	・剣舞の部 幼年の部 高岡 美和(岡山) 少年の部 長坂 紗織(愛知) 青年の部 安藤 祐嗣(愛知) 一般一部 尾崎 裕美(愛知) 一般二部 蟹江 功子(愛知)	・剣舞の部 幼年の部 山本 季和(愛知) 少年の部 伊藤 武(愛知) 青年の部 中神 友佳(愛知) 一般一部 杉浦 裕美(愛知) 一般二部 大倉 敏子(兵庫)
・詩舞の部 幼年の部 長坂 紗織(愛知) 少年の部 山本 智美(愛知) 青年の部 安藤 祐嗣(愛知) 一般一部 柏原 徳子(東京) 一般二部 東嶋ユキ子(大阪)	・詩舞の部 幼年の部 渡辺 直美(岡山) 少年の部 石渡 千紘(愛知) 青年の部 安藤 由記(愛知) 一般一部 石原 明子(兵庫) 一般二部 松本 房子(兵庫)	・詩舞の部 幼年の部 大野 晶子(愛知) 少年の部 小野 藍子(兵庫) 青年の部 田中 佳子(岡山) 一般一部 平岡 紀彰(茨城) 一般二部 鈴木 敏子(愛知)	・詩舞の部 幼年の部 長岡 加奈(岡山) 少年の部 関 みのり(愛知) 青年の部 鈴木 一人(愛知) 一般一部 田中 佳子(岡山) 一般二部 大持恵美子(兵庫)	・詩舞の部 幼年の部 三宅 絢子(岡山) 少年の部 岡本 理恵(岡山) 青年の部 荒谷早智子(愛知) 一般一部 見城はるの(静岡) 一般二部 松本 桂子(兵庫)

全国剣詩舞コンクール決勝大会優勝者一覧表

<p>昭和五十四年度(第二回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>少年の部 原 啓太郎(兵庫) ⊗</p> <p>青年の部 母利奈生美(兵庫) ⊗</p> <p>一般一部 天野 福子(東京) ⊗</p> <p>一般二部 小松 和恵(高知) ⊗</p> <p>・詩舞の部</p> <p>少年の部 藤上 桂子(岡山)</p> <p>青年の部 安井 智春(岐阜)</p> <p>一般一部 石川具美子(愛知)</p> <p>一般二部 千房シヅ子(大阪)</p>	<p>昭和五十六年度(第四回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>少年の部 原 弦太郎(兵庫)</p> <p>青年の部 城所 紀彰(愛知)</p> <p>一般一部 八木 保博(兵庫) ⊗</p> <p>一般二部 清原 良二(大阪) ⊗</p> <p>・詩舞の部</p> <p>少年の部 小枝 由貴(京都) ⊗</p> <p>青年の部 米倉 啓予(兵庫)</p> <p>一般一部 松本 栄子(大阪)</p> <p>一般二部 高井トヨ子(岐阜)</p>	<p>昭和五十八年度(第六回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>少年の部 安藤 祐嗣(愛知) ⊗</p> <p>青年の部 小野 浩子(千葉)</p> <p>一般一部 小野口富子(栃木)</p> <p>一般二部 須藤 初江(徳川) ⊗</p> <p>・詩舞の部</p> <p>少年の部 横山奈津子(宮崎)</p> <p>青年の部 芝山 陽子(三重) ⊗</p> <p>一般一部 山本 演志(岐阜) ⊗</p> <p>一般二部 安部 匡弘(東京)</p>	<p>昭和六十年(第八回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>少年の部 松島 一夫(福岡)</p> <p>青年の部 加司 和博(奈良)</p> <p>一般一部 木之瀬千恵子(山梨)</p> <p>一般二部 中神よし子(愛知) ⊗</p> <p>・詩舞の部</p> <p>少年の部 亀井 美乃(愛知) ⊗</p> <p>青年の部 杉浦 裕美(愛知) ⊗</p> <p>一般一部 和田 栄子(大阪) ⊗</p> <p>一般二部 森 敏子(岐阜)</p>	<p>昭和六十二年(第十回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>幼年の部 熊谷 公江(愛知)</p> <p>少年の部 岡 千代志(福岡) ⊗</p> <p>青年の部 林 観照(東京)</p> <p>一般一部 広田 光次(愛知)</p> <p>一般二部 山田 光雄(静岡)</p> <p>・詩舞の部</p> <p>幼年の部 山本 智美(愛知) ⊗</p> <p>少年の部 大日方里美(愛知)</p> <p>青年の部 城所 紀彰(愛知) ⊗</p> <p>一般一部 佐治 尚子(京都) ⊗</p> <p>一般二部 佐藤田鶴子(静岡) ⊗</p>	<p>昭和五十三年(第一回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>少年の部 城所 紀彰(愛知) ⊗</p> <p>青年の部 小野口富子(栃木)</p> <p>一般一部 林 博子(愛媛)</p> <p>一般二部 遠藤智恵子(東京)</p> <p>・詩舞の部</p> <p>少年の部 山口さおり(茨城)</p> <p>青年の部 市木 優子(東京)</p> <p>一般一部 原 真知子(兵庫) ⊗</p> <p>一般二部 中島寿恵(東京) ⊗</p>	<p>昭和五十五年(第三回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>少年の部 大津 知紀(兵庫)</p> <p>青年の部 大野多久美(大阪) ⊗</p> <p>一般一部 町田 智忠(東京)</p> <p>一般二部 金井 正光(大阪) ⊗</p> <p>・詩舞の部</p> <p>少年の部 杉浦 裕美(愛知) ⊗</p> <p>青年の部 菊川 禎恵(北海道)</p> <p>一般一部 斎藤 守(千葉) ⊗</p> <p>一般二部 四分千代子(東京)</p>	<p>昭和五十七年度(第五回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>少年の部 小島 一勝(京都)</p> <p>青年の部 柴田 裕弘(兵庫) ⊗</p> <p>一般一部 小山 博子(兵庫)</p> <p>一般二部 高橋 光江(徳川) ⊗</p> <p>・詩舞の部</p> <p>少年の部 池野 映子(大阪) ⊗</p> <p>青年の部 藤上 桂子(岡山)</p> <p>一般一部 原 京子(兵庫) ⊗</p> <p>一般二部 中神よし子(愛知) ⊗</p>	<p>昭和五十九年度(第七回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>少年の部 安藤 由記(愛知) ⊗</p> <p>青年の部 高井 博代(兵庫)</p> <p>一般一部 小野 尊由(兵庫) ⊗</p> <p>一般二部 多田栄美子(大阪) ⊗</p> <p>・詩舞の部</p> <p>少年の部 安藤 由記(愛知) ⊗</p> <p>青年の部 高井 博代(兵庫)</p> <p>一般一部 小野 尊由(兵庫) ⊗</p> <p>一般二部 多田栄美子(大阪) ⊗</p>	<p>昭和六十一年(第九回)</p> <p>・剣舞の部</p> <p>幼年の部 西邑 晃一(大阪)</p> <p>少年の部 小枝 由貴(京都)</p> <p>青年の部 朝野 公明(兵庫)</p> <p>一般一部 鈴木 敏子(愛知)</p> <p>一般二部 安部 匡弘(東京)</p> <p>・詩舞の部</p> <p>幼年の部 大岡 史帆(愛知) ⊗</p> <p>少年の部 安藤 由記(愛知) ⊗</p> <p>青年の部 斎藤 和美(山梨) ⊗</p> <p>一般一部 小山 博子(兵庫) ⊗</p> <p>一般二部 藤井 英子(兵庫) ⊗</p>
---	---	---	---	---	--	--	--	---	--

◎大会本部事務局	事務局長 大田 直樹	◎賞典委員	西 千晴
◎事務局	事務局長 大塚 政暢	◎会場委員長	美馬 義鷹
◎総務課	課長 森谷 文子	◎同委員長	美馬 義鷹
		◎同委員長	佐々木穂景
		◎同委員長	青柳 芳栄
		◎同委員長	内田 響泉
		◎同委員長	梶 玲扇
		◎同委員長	大石 世扇
		◎同委員長	樋口 茶城
		◎同委員長	一川 胡泉
		◎同委員長	福本 鷺城
		◎同委員長	黒川 義花
		◎同委員長	吉川 友泉
		◎同委員長	中尾 仁扇
		◎同委員長	黒川 義花
		◎同委員長	綿生 珠童
		◎同委員長	中西 剛賀
		◎同委員長	金川 葵扇
		◎同委員長	中瀬古義真
		◎同委員長	小栗 義士
		◎同委員長	磯島 広海
		◎同委員長	多田正千衣
		◎同委員長	太田 千爽
		◎同委員長	多田正千世

令和五年度全国剣詩舞コンクール決勝大会実施要項

- (1) このコンクールは、わが国の伝統芸道である剣舞・詩舞道に親しむ一般並びに青少年に、日ごろの剣詩舞道精進の成果を競う場を与えると同時にすぐれた剣詩舞道人を発掘し、これを表彰して斯道の向上と普及・発展を図ることを目的とし、この「全国剣詩舞コンクール決勝大会実施要項」に基づいて実施する。
- (2) 「コンクール」は、左の六部門に分けて行なうものとする。
- | 区分 | 幼年の部 | 少年の部 | 青年の部 | 一般一部 | 一般二部 | 一般三部 |
|----|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 資格 | 12才未満 | 12才以上
18才未満 | 18才以上
35才未満 | 35才以上
55才未満 | 55才以上
70才未満 | 70才以上 |
- (いずれも年齢は令和五年四月一日現在とする。)
- (3) コンクールの出場者は公益財団法人日本吟剣詩舞振興会(以下「財団」と略称)が全国八地区連絡協議会に委嘱して行なわれた(4)項の予選大会に出場して入賞し選出されたものであり、プログラムに記載された氏名者以外のとび込みは許されない。
- (4) 地区予選大会の名称とその包含地域
- I 北海道地区大会(道央・道南・道北・道東・北紋)
 - II 東北地区大会(青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島・新潟)
 - III 東日本地区大会(山梨・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・神奈川・東京)
 - IV 中部地区大会(静岡・愛知・長野・富山・石川・福井・岐阜・三重)
 - V 近畿地区大会(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
 - VI 中国地区大会(岡山・広島・山口・鳥取・島根)
 - VII 四国地区大会(香川・愛媛・徳島・高知)
 - VIII 九州地区大会(福岡・大分・佐賀・長崎・宮崎・熊本・鹿児島・沖縄)
- (5) この大会の審査委員は財団本部理事会に於て委嘱されたものである。

月刊『吟剣詩舞』ご購読のお願い

月刊誌『吟剣詩舞』は、指導者および一般愛好者の皆さんに不可欠の吟剣詩舞道界の幅広い情報誌として、また、教養誌として発行されています。

購読料は年間五、〇〇〇円(送料込)です。お申し込みは、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会事務局『吟剣詩舞』係あて、購読料を添えてお申し込み下さい。

どなたでも購読できます。どうぞ、お気軽にお申し込み下さい。

113	112	111	110	109	108	107	106
石川明美	伊藤修司	渡邊実佐	小嶋和美	永井聡多	高見さゆり	新田智子	吉田訓子
茨城	愛知	福岡	京都	愛知	岡山	徳島	熊本
芳野	和歌・ にほのうみ	芳野	和歌・ にほのうみ	辞世	辞世	芳野	母を憶う

120	119	「詩舞」青年の部	118	117	116	115	114
増井章高	原光希		松本文	奥谷晶子	岩田侑希	荒崎春奈	島田千尋
兵庫	兵庫		兵庫	愛知	京都	神奈川	香川
母を憶う	芳野		和歌・ にほのうみ	芳野	芳野	芳野	和歌・ にほのうみ

128	127	126	125	124	123	122	121
大勝百咲	入倉慶志郎	入倉真之将	古田琉舞	柴田讓	花田真理	藤上綺夏	日野晴菜
徳島	東京	愛知	大分	愛知	愛知	岡山	福岡
母を憶う	和歌・ にほのうみ	辞世	芳野	和歌・ にほのうみ	芳野	早に白帝城 を発す	芳野

(6) 出場者演舞のルール

- I 出場順……申込切後、厳正公平な抽選で決定したプログラム順とする。変更は特別の事由に基づき、大会会長が認めたものでないかぎり許されない。ただし、それも出場部門の競演実施中に限られる。
- II 演舞吟題……指定吟題の中からあらかじめ届け出たものとし、予選、決選とも同じ演舞吟題とする。なお、その吟は財団法人の「令和五年度吟剣詩舞道吟詠集」CDを使用する。
- III 衣裳と持ち道具
 剣舞……①衣裳は紋付など和服、または稽古衣、はかま着用とし、なるべく簡素化したものとする。②足袋及びたすきの着用は自由とする。③持ち道具は、武器及び扇子などとする。
- 詩舞……①衣裳は和服、はかま着用とし、なるべく簡素化したものとする。②持ち道具は自由とし、なるべく簡素化したものとする。③扇子の型状、色彩などは自由とする。
- 以上の原則に準じている場合は減点の対象としない。ただし、原則を著しく逸脱している場合は、減点の対象とする。

(7)

- IV 舞台照明……地あかりのみとし、バックはホリゾン（白色）使用を原則とする。
- V 演舞の要領……①司会者が出場者の番号、氏名、演題を紹介、一呼吸おいてCDが流される。②出場は上手、下手、板付いずれでもよい。また、そのタイミングも司会者の出場紹介が始まってからならいつでもよい。③振り付けは前奏、後奏を含めた全体でもよいし、詩文のみでもよい。演舞終了時、舞台にある振り付けの場合でも立礼は必要としない。なお、採点の対象は、原則として舞台出場から退場までの間の出場者の演技及び立居振舞とする。
- コンクールの審査要領
- I 審査基準は財団の「剣詩舞コンクール審査規定」を適用する。
- II 審査の基本方針は、剣舞・詩舞は吟詠の調べに合わせて詩歌のこころを体技をもって表現する芸道である。斯道の本質を踏まえ、芸としての向上を図るうえで不可欠なものは詩歌のこころを正しく理解する素養と、その技術的表現力、芸術的表現力である。この前提に立って審査の項目及び配点を、次のように設定する。

91	90	89	88	87	86
吉田郁夫	坪田里美	石田泰範	永富大樹	高橋博之	松本全伸
徳島	愛知	大分	大分	群馬	愛知
絶命の詞	絶命の詞	剣歌	馬上偶成	馬上偶成	塞下の曲其一

98	97	96	95	94	93	92
杉浦きよ乃	高橋宏徳	友井川友	上岡隆生	石川姫麗	佐々木真功名	竹内彩夏
愛知	徳島	兵庫	三重	愛知	青森	千葉
馬上偶成	馬上偶成	塞下の曲其一	塞下の曲其一	塞下の曲其一	絶命の詞	絶命の詞

「剣舞」青年の部

105	104	103	102	101	100	99
原歩岡山辞世	三木優佳	永田大地	多嘉良銀太	杭田永遠	岩丸和花	野中政利
	兵庫	福岡	東京	岡山	福岡	東京
	馬上偶成	剣歌	剣歌	馬上偶成	剣歌	剣歌

「詩舞」一般一部

- A 技術的表現力 (50点配点)
 ① 基礎技量……30点 ② 錬磨度……20点
- B 芸術的表現力 (50点配点)
 ① 詩心表現力……30点 ② 舞台表現……20点
- (8) 審査除外(失格)
 I 遅刻、指定CD外演舞、演舞放棄、その他審査委員長が失格と認めた場合。
 (9) 全国大会の出場者数と表彰
- I 9頁別表の通り。
 II 出場者には参加賞を授与する。
 III 各部一位入賞者は第五十三回全国吟剣詩舞道大会に於て、全国剣詩舞コンクール優勝者として出演する。
 IV 剣舞、詩舞各部に次の賞を贈る。

〈幼年の部〉

- 一位 会長賞・金メダル・NHK杯
- 二位 会長賞・銀メダル
- 三位 会長賞・銅メダル

〈少年の部〉

- 一位 会長賞・金メダル・NHK杯
- 二位 会長賞・銀メダル
- 三位 会長賞・銅メダル
- 四位～五位 会長賞

〈青年の部〉

- 一位 会長賞・金メダル・NHK杯
- 二位 会長賞・銀メダル
- 三位 会長賞・銅メダル
- 四位～五位 会長賞

〈一般一部〉

- 一位 会長賞・金メダル・民放杯
- 二位 会長賞・銀メダル
- 三位 会長賞・銅メダル
- 四位～五位 会長賞

〈一般二部〉

- 一位 会長賞・金メダル・民放杯
- 二位 会長賞・銀メダル

三位 会長賞・銅メダル
 四位～五位 会長賞
 また、各部一位入賞者（優勝者）へ授与する会長杯は持ち回
 りとする。

〈一般三部〉

一位 会長賞・金メダル・民放杯

二位 会長賞・銀メダル

三位 会長賞・銅メダル

(10) 「コンクール」進行中の拍手、声援、私語雑談及び大会本部
 許可の報道関係者並びに記録班以外の会場内での写真撮影、ビ
 デオ等の録画は禁止する。

(11) 本コンクールにおいて財団が撮影した写真や映像について
 は、財団が発行する雑誌、公式ホームページ及びテレビ放映など
 にて使用する場合がある。

※「審査結果発表並びに入賞者表彰時の留意事項」
 幼年・少年の部の審査結果は、昼食休憩終了後の剣舞一般の部の審査
 開始前に発表されます。
 なお、本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、審査結果発表
 時に出場者本人が不在の場合も事前に届け出があれば失格とはしませ
 ん。

70	69	68	67	66	65	64	63
齊藤佐津子	中尾俊治	鈴木一人	灘部鈴子	牧 清美	対馬真喜子	入倉仁美	大城戸正美
高知	徳島	茨城	東京	愛知	青森	愛知	熊本
母を憶う	母を憶う	辞 世	母を憶う	早に白帝城 を発す	和歌・ にほのうみ	芳 野	母を憶う

77	76	「剣舞」一般一部	75	74	73	72	71
根岸友美	大津知紀		友井川泰子	百田あゆみ	松山知子	五月女益美	疋田澄子
栃 木	兵 庫		兵 庫	京 都	岡 山	栃 木	京 都
馬上偶成	馬上偶成		芳 野	和歌・ にほのうみ	辞 世	母を憶う	母を憶う

85	84	83	82	81	80	79	78
宮岡貴子	島村哲平	篠原友美	河村真里	中田加奈子	藤島永治	林 大祐	永吉龍一
高知	新潟	香川	兵庫	愛知	岡山	広島	栃 木
馬上偶成	絶命の詞	川 劍 歌	馬上偶成	塞下の曲其一	馬上偶成	劍 歌	絶命の詞

令和五年度全国剣詩舞及び群舞コンクール指定吟題

☆剣舞		☆詩舞	
(幼年・少年の部)		(幼年・少年の部)	
1 豪勇義経	松口 月城	1 親を夢む	細井 平洲
2 出郷の作	佐野竹之助	2 九段の桜	本宮 三香
3 泉岳寺	坂井 虎山	3 舟中子規を聞く	城野 静軒
(青年・一般の部)		(青年・一般の部)	
1 剣歌	小笠原白也	1 辞世	吉田 松陰
2 塞下の曲 其一	張 仲 素	2 早に白帝城を発す	李 白
3 絶命の詞	黒沢忠三郎	3 母を憶う	頼 山 陽
4 馬上偶成	高杉 晋作	4 芳野	斎藤 拙堂
5 和歌・もののふの	菊池 武時	5 和歌・にほのうみ	俊成 卿女
(群舞)		(群舞)	
1 吉次峠の戦い	佐々 友房	1 黄鶴楼	崔 顯
2 坂本龍馬	松口 月城	2 水戸八景	徳川 景山
3 大楠公	河野 天籟	3 銭塘懐古次韻	积 絶 海

令和五年度全国剣詩舞コンクール決勝大会出場者数

地区別	資格区分	幼年	少年	青年	一般一部	一般二部	一般三部	合計
		11歳まで	12~17歳まで	18~34歳まで	35~54歳まで	55~69歳まで	70歳以上	
北海道	剣舞	0	0	0	0	1	1	2
	詩舞	0	0	0	0	0	1	1
東北	剣舞	0	0	1	1	0	0	2
	詩舞	0	1	0	0	1	1	3
東日本	剣舞	1	1	3	3	1	1	10
	詩舞	1	1	1	2	3	2	10
中部	剣舞	1	2	3	3	2	1	12
	詩舞	1	2	3	3	2	1	12
近畿	剣舞	1	2	2	2	2	1	10
	詩舞	1	2	2	3	3	1	12
中国	剣舞	1	1	1	2	1	1	7
	詩舞	1	2	1	2	2	2	10
四国	剣舞	1	1	1	3	1	1	8
	詩舞	1	1	1	2	2	2	9
九州	剣舞	1	1	2	2	2	2	10
	詩舞	1	2	2	2	1	2	10
計	剣舞	6	8	13	16	10	8	61
	詩舞	6	11	10	14	14	12	67
入賞	剣舞	3位まで	5位まで	5位まで	5位まで	5位まで	3位まで	128
	詩舞	3位まで	5位まで	5位まで	5位まで	5位まで	3位まで	

48	47	46	45	44	43	42	41
西原 香	小倉典子	藤原さつき	秋本里子	竹森裕二	白山敦子	濱岡眞澄	建部 司
兵庫	三重	栃木	高知	広島	道央	京都	愛知
和歌・もののふの	和歌・もののふの	和歌・もののふの	剣歌	絶命の詞	和歌・もののふの	和歌・もののふの	馬上偶成

55	54	53	52	51	50	「詩舞」一般三部	49
田中トミコ	山田幸子	鈴木文枝	中山みさを	今町美佐子	澤田紀代子		中屋美佐子
愛媛	愛媛	愛知	東京	佐賀	広島		鹿児島
芳野	芳野	辞世	母を憶う	母を憶う	辞世		剣歌

62	61	60	59	58	57	56
藤岡洋子	加来貴子	吉田ミキ子	成田けい子	四方清子	安井美智子	山口保子
広島	福岡	青森	道央	京都	岡山	茨城
芳野	芳野	早に白帝城を発す	早に白帝城を発す	母を憶う	早に白帝城を発す	芳野

◎コンクール出場者氏名

「剣舞」幼年の部

出演順	氏名	推薦	演題	成績
1	小野愛琉真	栃木	豪勇義経	
2	敷津才蔵	大分	出郷の作	
3	橋本琴音	香川	豪勇義経	
4	藤原昂大	岡山	泉岳寺	
5	齊藤袖璃	兵庫	出郷の作	

「剣舞」少年の部

6	埴嘉門	愛知	豪勇義経	
7	田口穂	東京	出郷の作	
8	土井長翼	広島	豪勇義経	
9	山田明穂	大分	豪勇義経	
10	永田菜桜	愛知	豪勇義経	
11	多田啓良	大阪	豪勇義経	
12	木下衣鶴	愛知	泉岳寺	

「詩舞」幼年の部

13	吉田葉菜	徳島	豪勇義経	
14	戸田宙希	滋賀	豪勇義経	
15	村田稀星	東京	親を夢む	
16	佐藤蓮	徳島	舟中子規を聞く	
17	畑本彩希	岡山	舟中子規を聞く	
18	池田悠希	福岡	舟中子規を聞く	
19	鈴木嗣人	愛知	九段の桜	

「詩舞」少年の部

20	永井雪穂	兵庫	舟中子規を聞く	
21	若松袖希	京都	舟中子規を聞く	
22	吉田美陽	福岡	親を夢む	
23	堀真大朗	愛知	九段の桜	
24	片山心結	岡山	舟中子規を聞く	
25	小島煌凜	香川	舟中子規を聞く	
26	上竹美聖	新潟	九段の桜	

「剣舞」一般三部

27	畑本彩結	岡山	舟中子規を聞く	
28	建部有咲	愛知	九段の桜	
29	石川琳梨	茨城	舟中子規を聞く	
30	植原李香	京都	舟中子規を聞く	
31	本田すみれ	熊本	九段の桜	
32	竹内久恵	愛知	絶命の詞	
33	鈴木美知子	東京	和歌・もののふの	

「剣舞」一般二部

34	西村美輪	高知	剣歌	
35	三井満男	宮崎	剣歌	
36	谷野光弘	岡山	馬上偶成	
37	浦上美智子	道央	和歌・もののふの	
38	津村恵子	長崎	和歌・もののふの	
39	加藤登規	兵庫	絶命の詞	
40	山田貴己	大分	和歌・もののふの	